科目ナンバリング	U-LAS00 20010 LJ34				
授業科目名 <英訳>	哲学・文化史II History of Philosophy and Culture II		担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	戸田　剛文
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・後期	曜時限	水3	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

現代の哲学にも大きな影響を与え続けている近代哲学を、イギリス経験論を中心に解説する。特にデカルト、ロック、バークリを中心に、ヒューム、リードなどそれぞれの人物に焦点をあて、それぞれの影響関係、現代哲学との関係などを考察する。これにより、現代につながる哲学的な考え方が、どのようにして受け継がれ、発展されてきたのかを理解し、現代の私たちの問題を考える手がかりとする。

[到達目標]

特に「知識」とはどのようなものであるのか、あるいは科学と哲学の関係などについての歴史的研究を学ぶことにより、哲学史的教養のみならず、現代の哲学的問題を考える基礎を身につける。

[授業計画と内容]

特に認識論（知識の哲学）の問題を、近代イギリス経験論の哲学者を中心に考える。

各哲学者について、２、３回程度を用いて解説する。

1. ガイダンス
2. デカルト
3. ロック
4. バークリ
5. ヒューム
6. リード

のような順番で講義を行う。
教科書は、全てを使用するのではなく、特に関連ある部分を中心に用いる。また教科書の執筆者にゲスト講義してもらう回が入る可能性がある。

１、２回の小テストを行う。

授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

[履修要件]

哲学I、IIの授業を履修していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

授業中の小テストで判断する。

哲学・文化史II(2)へ続く↓↓↓

哲学・文化史II(2)

[教科書]

使用しない

[授業外学修（予習・復習）等]

講義に関連のある書籍などを読みつつ、自分なりに問題に対して考えてください。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]